

「笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画基本方針」（案）に対するご意見を踏まえて

平成 26 年 2 月 28 日

笠岡市教育委員会

1 学校規模の適正化に関する基本的な考え方について

(1) 学校や学級規模については、「学校教育法施行規則」（第 41 条・第 79 条）や「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令」（第 4 条）において、標準とする学校規模を 12 学級以上 18 学級以下としています。ただし、地域の実態その他により特別の事情があるときはこの限りではないとされています。（「学校教育法施行規則」）

1 学級当たりの児童生徒数については、「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」に規定されており、小学校 1 年生 35 人、それ以外は 40 人となっています。ただし、岡山県教育委員会が定めた小・中学校学級編成基準では、小学校 2 年生も学級編成基準を原則 35 人としています。もし、40 人を超えた場合は 2 学級編成となり、1 学級当たりの児童生徒数は 20 名以上となります。

こうした国・県の基準等を踏まえて、基準とする学級規模を設けました。

(2) 標準とする学校規模は、子どもの多様な活動や社会性の涵養という観点や教職員組織の観点などから設けられており、具体的には次の点が重要であると考えています。

- ・一定の規模があることにより、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れる中で、互いに認め合い、協力し合いながら学習や生活することを通じて、一人一人の資質や能力を高めやすくなる。
- ・特に、中学生の発達段階を踏まえ、人間関係に配慮した学級編成ができる、きめ細やかな指導に向けた習熟度別指導等の多様な指導形態をとることができる、部活動がより多くの種目でできる、といった生徒の選択の幅を広げることが可能となる。
- ・教員配置に関わり、教育活動をより多様に展開するために必要な教員数を確保することができる。

(3) 現在各学校において実施しています教育活動の是非を児童生徒数や学校規模だけで判断することは、必ずしも適切であるとは考えておりません。どの学校においても、家庭や地域社会と連携し、「生きる力」の育成を目指して教育活動の充実を図ることが求められています。しかし、児童生徒一人一人に応じた多様な教育活動を実現するためには、学校規模、言い換えれば児童生徒数や学級数、それによって配置される教職員数が影響することは否定できません。

こうしたことを踏まえて、笠岡市教育委員会は、児童生徒一人一人の確かな学力、豊かな心、健やかな体といった「生きる力」を育成するための教育活動を充実させていくために、笠岡市立小学校の学校規模につきましては 1 学年 1 学級、1 学級当たりの児童数は 20 名を目安として、中学校につきましてはクラス替えが可能となる規模を目指して、学校規模の適正化を図って参りたいと考えています。

2 学校規模の適正化に当たっての基本的配慮事項に関わるご意見について

(1) 特色ある学校づくりについて

現在各学校が地域と連携して実施している特色ある教育活動は、大変大切であると考えています。そのため、その特色ある教育活動を継続するための支援、具体的には教育活動への位置づけや実施に関わる児童生徒や保護者、地域の皆様の送迎等にも配慮します。

(2) 通学の安全確保や通学にかかる負担について

通学に係る安全確保を第一に考え、天候等の様々な状況を想定した対応を考えて参ります。その際には、学校や保護者、地域の方々としっかりと協議しながら進めて参ります。

また、島しょ部の児童生徒の通学に係る心身の負担軽減についても、慎重に検討しなければならないと考えています。特に、小学生という発達段階を考えた場合、スクールボートや定期船の活用に関する様々なシミュレーションを行い、その中で安全面や心身の負担を最大限に考慮して慎重に判断して参りたいと考えています。

(3) 円滑な移行に関わる支援について

児童生徒が統合による新しい環境によりよく順応し、楽しく学校に通えることができるように、児童生徒や保護者、地域の皆様を含めた学校見学や様々な交流活動を実施して参ります。その際の児童生徒や保護者、地域の皆様の送迎等にも配慮して参りたいと考えています。

(4) 校舎等の利活用等について

統廃合後の校舎等の利活用については、地域の皆様と協議する中で、具体化を図って参ります。

また、今後の定住促進や地域の活性化等についても、市長部局と連携して対応するとともに、地域の皆様と協議して参りたいと考えています。

なお、答申があったので平成26年度から即統廃合ということではございません。平成26年度から、該当校の保護者・地域の皆様と協議を進めて参りますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。